

授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	脇山園恵、白男川尚、石岡和志、古川博文、林宏二	開講期	4年前期
		単位数	1

### 【授業の主題】

精神保健福祉援助実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを体得することを目指す。また、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。

### 【到達目標】

- 1) 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理を理解する。
- 2) 実習施設・機関と周辺地域の特性を理解する。
- 3) 精神保健福祉士が地域包括ケアの担い手となるチームアプローチを理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 実習概要の確認
- 第 3回 実習施設の概要作成①
- 第 4回 実習施設の概要作成②
- 第 5回 実習計画書の作成①
- 第 6回 実習計画書の作成②
- 第 7回 実習計画書の作成③、事前訪問の目的・内容など
- 第 8回 実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方①
- 第 9回 実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方②
- 第 10回 実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方③
- 第 11回 関係書類の準備と扱い方、個人のプライバシー保護と守秘義務の理解
- 第 12回 実習課題の確認、実習中の注意事項、緊急時の対応など
- 第 13回 グループディスカッション～情報共有～①
- 第 14回 グループディスカッション～情報共有～②
- 第 15回 現場体験学習：ゲストスピーカーを招聘 ※ゲストスピーカーとの日程調整により回の変更があり得る

### 【授業実施方法】

講義と演習（個人、グループ）で行う。

### 【授業準備】

精神保健福祉法並びに障害者総合支援法について復習し、実習先の法的位置付けや精神障害者の置かれている現状などを理解して、授業に臨むこと。

### 【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習

### 【教科書等】

荒田寛・小田敏雄・田村綾子・川口真知子・相川章子『PSW 実習ハンドブック—実習生のための手引き』へるす出版

### 【参考文献】

必要に応じて紹介する。

### 【成績評価方法】

提出物（ワークシート、ミニレポートなど）70%、グループ発表（報告書）30%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

### 【学生へのメッセージ】

実習を効果的に進められるよう、これまでの学習や生活上の経験を活かしながら積極的・主体的に取り組んでください。1週間に複数回開講するので、遅刻・欠席がないよう自己管理してください。